

令和 2 年 12 月 22 日

東備西播定住自立圏
共生ビジョン懇談会委員 各位

東備西播定住自立圏共生ビジョン懇談会

第 14 回東備西播定住自立圏共生ビジョン懇談会（書面開催）結果について

時下、皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、定住自立圏構想の推進につきまして、ご理解を賜り感謝申し上げます。

さて、第 14 回「東備西播定住自立圏共生ビジョン懇談会」につきましては、書面開催とさせていただきます。

その結果について別紙のとおりご報告いたします。

○各委員からのご意見等およびこれらに対する事務局の回答は次のとおりです。

意見内容	回答
事業に対する費用対効果について。 「令和元年度事業報告」 P13 観光推進事業 2. 第6回 台湾大商談会 目的として、赤穂市・上郡町・備前市への誘客を目的としているがその効果について。 3. ファムツアーの実施 観光客入込数 271 万人は実際 3 日間で来た人数か。 いくらの経済効果があったのか。 予算 1,621,344 円に対する効果としてどうなのか。	令和元年度事業は、将来のインバウンド顧客の獲得を目的として、台湾市場に対するプロモーションの実施を主眼において実施したものでありますので、ファムツアー等の実施による経済効果等の検証は行っていないませんが、今後のインバウンド誘客に向けた受け入れ体制の整備に繋がるものと考えています。 なお、観光客入込数 271 万人は、2 市 1 町の主要観光施設に 1 年間で訪れた観光客の総数であります。 【台湾大商談会】 ・日 時：令和元年 9 月 3 日～9 月 7 日 ・場 所：高雄、台中 ・内 容：台湾旅行会社に対して圏域のプロモーションを実施 【ファムツアー】 ・日 時：令和元年 11 月 4 日～11 月 7 日 ・内 容：商談会にてプロモーションを実施した旅行会社の内、4 社を招請してファムツアーを実施
P23 定住相談会 相談会をすることで、何人移住定住したのか。 この事業に対する費用対効果。	平成 27 年度から令和元年度までの定住相談会に参加した 271 世帯のうち、9 世帯 19 名の方が 2 市 1 町に転入し、その内訳は、赤穂市へ 2 世帯 7 名、上郡町へ 2 世帯 3 名、備前市へ 5 世帯 9 名です。相談会にかかった経費の総額は、6,049 千円です。 定住相談会では、2 市 1 町の職員がそれぞれの市町の移住施策や長所・短所を説明するなど、移住希望者の移住に対する不安解消に努めた結果、移住につながったものと考えます。